



枚方市長
中 司 宏 様

楽寿荘の存続及び蹉跎保育所の移転に関する要望

蹉跎校区自治会連絡協議会

長年、地域住民が親しんできた老人福祉センター「楽寿荘」が、今年3月、5年間の無償貸与期間が過ぎることから、地元の要望や枚方市の努力によって更に3年間無償による存続延長が決定されました。その決定から早いもので、1年が経過しようとしています。

蹉跎校区の地元8地区自治会では、是非、この歴史ある「楽寿荘」を地域コミュニティの活動の場として、将来にわたり枚方市の財産として存続してほしいと願っています。また、過去数年来、年2回のボランティア活動として、各自治会から毎回200名を超える住民の参加を得て、清掃活動をして参りました。しかし、何時までも、大阪府に無償による存続延長を求めることにも限界があると考えています。

一方、国では、京阪電鉄の香里園駅から光善寺駅・枚方公園駅にかけ、約5.5kmの高架化事業に向けた調査費が計上されました。3年後には、高架化の必要性が認められ、近い将来、高架化の具体化が進んでいくものと予測されます。そうした中で、光善寺駅周辺整備事業も急がれます。また、枚方市では、光善寺駅前の蹉跎保育所の有力な移転候補地として楽寿荘用地が考えられており、現在60名定員の保育所を90名定員とし、0歳児保育もとり入れていきたいとの考えも伺っています。

このような状況を踏まえ、私たち自治会は、枚方市の厳しい財政事情も考慮し、去る12月1日、校区自治会長8名が関係部と意見交換をいたしました。その結果、楽寿荘を存続させるためには、蹉跎保育所を「楽寿荘」に移転し、移転後の保育所跡地利用については、そこに既存する集会所や駐輪場など、地元が必要とする施設を整備することなど、地元の希望を十分尊重されることを条件に、やむを得ないものと判断いたしましたことを申し添え、住民の総意として、これらの早期実現を要望いたします。

平成17年12月22日

蹉跎校区自治会連絡協議会

北中振自治会 会長 林 敏夫

南中振南自治会 会長 畠山洋子

北中振中央自治会 会長 友田淳治

南中振西自治会 会長 大澤勝彦

北中振西自治会 会長 西井一博

南中振北自治会 会長 夏山鉄夫

南中振自治会 会長 鎌田和敏

南中振北地区自治会 会長 岡田 寛

懇談会についてのアンケート 集計

☆お忙しい中、保護者を代表しての出席ご苦勞様です。宜しくお願いします。

- ・ 子供達の負担が少しでも減るよう、願うばかりです…。
- ・ 保育所の場所を移動することに反対！
- ・ 市長が計画されている今後の具体的な日程を知りたい。
- ・ 楽寿荘に移転後の採算はどうなっているのか（誰も預けないと思う）
採算がとれない場合、そもそも民営化する意味がないという事になる。
- ・ 楽寿荘への朝晩の送迎を安全に行ける様な対策は考えているのか？
現地で建て替えをし、その間は別の場所（例えば公民館など）を借りてでも今の場所で建て替えしてもらいたい。
- ・ 自転車での送迎が不可能にかかわらず楽寿荘へ移転・民営化された場合、保育を希望するというニーズがあるのかどうか、しっかり調査し、検討していただきたいです！そんな送迎の困難な所へ預けるより、近隣他園へ預ける事を希望する保護者が多いのでは？
- ・ 保護者の意見を無視した状態でどんどん話が進められているようです。もっと周りの声に耳を傾けて安心して預けられる保育所を目指して下さい。
- ・ どう考えても、楽寿荘への移転を伴う事には反対です。駅周辺の安全を 100%クリアできる策があるとは思えないし、出口、北中振地区からの登所を考えると、坂道の不便さだけでなく、京阪電車の踏み切りを渡る Or 改札口横の高架を使用しなければならなくなる（自転車・車は無理！）ことになり河川側の住民のことを全く考えていない移転には反対！！今の立地もいいので、多機能（一時・休日等）をもつ公立としてのさだ保育所の生まれ変わりを方向性の一つとして取り入れてもらいたい。
- ・ さだ保育所の建て替え委員会では、長年「現地での公設公営で建て替え」を要望しています。それなのに市の方針は保護者の要求とは全く逆ではありませんか！？これまでの要求をどう捉えられていたのか疑問です…。1/26 の現況報告会で子育て支援室の方は「子供達にとって一番いい方法で考えて行きたい。」と何度もおっしゃっていましたが、子供達にとって一番いいのは「今のままのさだ保育所を残すこと」です！ 大人でも働く環境が変れば慣れるまでかなりの時間を要します。環境が激変する子供達の負担は計り知れないと思います。どうして、財政難のつけを一番弱い子供達が背負わなければならないのでしょうか？私達は「公立さだ保育所」を希望して入所してきました。それなのに途中で「私立」に変えてしまうのは、あまりにも身勝手ではありませんか？
- ・ 民営化、必要なんでしょうか？市の財政はそれで本当に助かるのでしょうか？公立・この地を選んで、入所している人達に対し納得のいく回答を出せるのでしょうか？なぜ、さだなのか。なぜ、移転&民営化なのか。仮に移転・民営化となった際に、今よりも魅力的と思える保育所サービスのビジョンを市は作れるのでしょうか？市の姿勢から見える民営化の保育向上は、量的解決だけにしか思えず、質の維持は見えてこない（むしろ悪化？）です。公立を減らし、市の負担が減るだけが民営化の意図なら、今の施策は理解します。（納得なしなんです）少子化対策や待機児童解消の名のもとに、具体的なデータやビジョンも示さない民営化ならお断り。まして移転もお断り。市は貧乏くじをひいたと思って諦めさせるつもりかもしれませんが、宇山の二の舞になりたいんですかね…。枚方市は「子育てしやすい町づくり」を掲げていたはずですが、何故民営化の必要があるのか、民

営化のメリット・デメリットをきちんと示して話し合いをしてほしいと伺います。他の自治体でも民営化でもめている所が多数あります。しかし、一方で比較的成功している所も少しあります。(大成功ではないですが) 成功していると言える所は、市・委託法人・在籍保護者との話し合いをとっても大事にしていると聞きました。枚方市にもそういう姿勢が見られればと思うのですが…。保護者の今の私にはそうは思えません。市は色んな人を呼んで、在籍保護者からは1人で、会長さんに行って頂く…。周りが皆、民営・移転推進なら、多数決的に民営化の流れが作られてしまわないか心配です。

- ・「さだ保育所民営化」に向けて、枚方市は保護者に対しての説明責任を今後どのように果たしていくのか、具体的に教えてほしい。
- ・保育所民営化による子供達への影響はないと考えているのか？
- ・宇山の場合と違い「移転建て替え民営化」となると、入所児全員が新しい園に転所するのと同じ(環境が激変する)で子供達への影響は大きいと思うがどう考えるか？
- ・楽寿荘用地が保育所を建てる場所としてふさわしいと考える理由は何か。毎日送迎するには困難であると当事者(保護者)は訴えているのに、市はどのような解決策を考えているのか？
- ・市は「民営化」を前提に「どうすれば子供達にいいか」を模索していると思う。民営化すると起こり得る問題点を多くつきつけ、どのような解決策を考えているか知りたい。(これから検討するという返答しかもらえないだろうが…)
- ・遊戯室2階の集会所利用者達は、保育所がなくなったらどこを利用するのか？保育所跡地の利用まですでに考えているのか？
- ・楽寿荘利用者達は保育所が移転することに賛成なのか？
- ・土地の境界画定がまだという事だが、どのくらいの土地を保育所として活用しようと考えているのか？(どの辺りの土地を利用しようと考えているのか)
- ・保育所を選ぶ時に「公立」だからという理由で「さだ保育所」を選択したのに途中で「私立」になるのは納得できない。今年(H19年度)入所してくる人達には、キチンと民営化対象園であること(少なくとも「将来的には7園以外は民営化する」という市の方針について)を伝えているのか？
- ・「老朽化しているから建て替えしてほしい」という要望を毎年市へ提出しているが、あくまでも「現地で公設公営で建て替え」であって移転をのぞんでいない。(以前はそうであったかもしれないが、現在の要望では移転を望んでいない)「現地で公設公営で建て替え」では予算が取れず建て替えられないのであれば、建て替えず今のままで残す道はないのか？



平成18年5月18日

枚方市長 中司 宏 様



さだ保育所 保護者会

会長 稲岡 真弓

さだ保育所 建て替え委員会

委員長 本領 浩子

要 望 書

1) 公設公営および現地での園舎ならびに遊戯室の建て替えについて

公設公営による保育を受けることは、市民の権利であり、安全で安定した保育を子どもたちに提供するのには、大人の義務です。枚方市の将来を担う子ども達やその保護者は、枚方市を信用信頼し、沢山の選択肢の中から枚方市立さだ保育所を選びました。

今年度の市政運営方針の中で「(さだ保育所建て替え問題を解決する有効な候補地としての)楽寿荘については、引き続き市立老人福祉センターとして運営するとともに、敷地内で民間法人による保育所整備に向けた準備を進めます。」とありますが、私たちの長年の願いである園舎ならびに遊戯室の公設公営で、現地での建て替えを進めて頂くことを強く要望します。なお、建物の設計及び定員等については、必ず、保護者・職員・短時間保育従事員の意見を聞き、納得のいくまで話し合いを進めるようお願い申し上げます。

以 下 略

さだ保育所の民営化による効果額（想定）

1. 公私立別保育所運営経費比較（平成17年度決算）

（円）

	公立(17園)	私立 (37園)	運営費差額
運営経費（支出総額） A	3,074,804,827	4,717,194,171	—
運営経費（一般財源） B	2,637,453,867	1,934,015,009	—
1人当たり年間運営経費 A	1,689,143	1,069,961	619,182
1人当たり年間運営経費 B	1,448,885	438,676	1,010,209

※公立保育所の運営費については平成16年度から一般財源化された。

2. さだ保育所民営化による効果額

（平成21年度以降）

運営経費（支出総額）から見た効果	62万円×60人	3,720万円
	62万円×90人	5,580万円
運営経費（一般財源）から見た効果	101万円×60人	6,060万円
	101万円×90人	9,090万円

3. 施設整備について（90人規模の保育所を整備した場合）

	公立で整備	私立で整備
2階建て 延べ床面積約1,000㎡ （保育室6、調理室、事務室、地域子育て拠点事業 専用室、一時保育室等）	全額市の負担 （起債は可） 2億5,000万円程度	市の一般財源負担額 は国の基準額の 1／4 3,200万円程度

※公立保育所の施設整備については、平成18年度から一般財源化された。